

—新法施行(6.15)への対応策を構築する

民泊新法の活用と自治体観光戦略

～新しいビジネスモデルとニューツーリズム「民泊」「農泊」の施策化～

- 都市型民泊—禁止地域設定・営業日数制限等と観光振興の両立(連携)
- 地方型・体験交流型民泊—地域資源を有効活用した地方創生の推進
- ◆民泊拡大とホテル・宿泊産業—民泊新法の役割・効果・課題、東京都の施策
- ◆百戦錬磨—自治体と連携した民泊・農泊活用の地域活性化の推進

2018年3月22日(木) 13:00～16:30 創立会館・会議室(東京・千代田区)

【講師陣】

玉井 和博 氏／大妻女子大学人間関係学部特任教授
上山 康博 氏／(株)百戦錬磨 代表取締役社長

【参加要領】

■会場：創立会館・会議室
東京都千代田区紀尾井町3-27
(案内図は申込後送付)

■参加費(1名分)

	1名参加	2名以上参加
行政・議員	20,000円	19,500円
一般	30,000円	28,000円

参加費の払い戻しは致しませんので、申込後にご都合が悪く欠席される場合には代理の方の出席をお願い致します。

お申し込み・お問い合わせ

あすの街と村を考える
地域科学研究会

東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2-106
TEL03(3234)1231 FAX03(3234)4993 〒102-0082
<http://chiikikagaku-k.co.jp/>

【申込書】 FAX: 03-3234-4993 Email: machi@chiikikagaku-k.co.jp

2018年 月 日

■研修会『民泊新法の活用と自治体観光戦略』 当日参加 ※メディア参加はありません

■出版物の購入 内発型活性化の実践 冊

勤務先

連絡担当者

所在地〒

TEL

参加者氏名

所属部課役職名

FAX

Email

〈通信欄〉〇を付けて下さい

支払方法(請求後の振込・郵便振替・当日払い)
必要書類(納品書・請求書・見積書・領収書)

請求書等宛先名: _____

時	講義内容
13:00 ~ 14:50	<p>インバウンドの実態と民泊拡大に伴うホテル・宿泊産業の課題 大妻女子大学人間関係学部特任教授 玉井 和博氏</p> <p>1. インバウンドの現状と観光立国としての課題～思いもよらぬ外客拡大～ 2. 都市におけるホテル事業の実態～マーケットの変化とビジネススキーム～ 3. "おもてなし"のうそ!!…???～サービス産業の価値とは…～ 4. 新たなビジネスモデルと社会価値の視点～住宅宿泊事業法の視点と課題～ 5. 住宅宿泊事業法に対する東京都の考え方～今後の課題と対応～</p> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p> <p>玉井 和博(たまい かずひろ)氏 プロフィール</p> <p>立教大学経済学部経営学科卒。1971年京急興業株式会社(現:京急不動産株式会社)入社、1993年(株)ホテル京急へ出向。ホテルグランパシフィックメリディアン総支配人室長、(株)ホテル京急代表取締役社長、ホテルパシフィック東京総支配人等を経て、2010年より立教大学観光学部特任教授、2017年4月より現職。その他、観光庁「MICE国際競争力強化委員会企画小委員会」委員長、「埼玉県観光づくり基本計画推進委員会」委員長、公益財団法人東京観光財團「東京都MICE連携推進協議会」委員、東京都「TOKYO旅館ブランド構築・発信事業審査会」委員など歴任。</p>
15:00 ~ 16:30	<p>民泊を活用した地域活性化について (株)百戦錬磨代表取締役社長 上山 康博氏</p> <p>1. 当社概要 2. 民泊と新法施行について (1) 民泊とは (2) 民泊新法(住宅宿泊事業法)がもたらす変化 3. 農泊について (1) 農泊を取り巻く環境と将来 (3) 農泊展開のヒント</p> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p> <p>上山 康博(かみやま やすひろ)氏 プロフィール</p> <p>KLab株式会社取締役事業本部長を経て、2007年楽天トラベル執行役員に就任。数々の先進事業を開発、新規サービスの立ち上げに従事。2012年(株)百戦錬磨を設立し、同社代表取締役社長に就任。ICTを活用した需要創造型の新たな旅行サービスを切り開き、2017年徳島県・美馬市との連携協定締結等を推進。観光庁観光産業政策検討会委員等を歴任し、合法な民泊を推進している事業者として、自民党の観光立国調査会、内閣官房の規制制度改革分科会等に参加。現在は日本ファームステイ協会代表理事、歴史的資源を活用した専門家会議構成員、首都大学東京非常勤講師、日本インバウンド連合会(JIP)幹事長。</p>



まちづくり資料シリーズ22 地域資源の発見と創造と活用と一

内発型活性化の実践

～開発戦略と行政のリエンジニアリング～

[監修] 岡 並木／武蔵野女子大学 教授

山本雄二郎／高千穂商科大学教授

■体裁：A4判／310頁
 ■発刊：1994年11月1日
 ■定価：12,583円(税込)
 (本体11,651円)
 ■研修会参加者特価：9,800円

第1章 地域活性化のエレメント—ポテンシャルの生かし方

- I. 「報告」地域資源の発見からはじめたまちづくり
～内発的な地域振興への取組み～ 伊藤 寛（福島・三春町長）
- II. 「報告」「環境」を地域資源として生かした活性化の方策
～時代を読み、場所を読み、人を読む、ランドスケープ～ 上山 良子（ランドスケープアーキテクト）
- III. 「報告」「さきがけ」のまちづくりのバックボーン
～「本物」志向が生み出すミナト・ヨコハマの魅力～ 若竹 鑫（横浜市下水道局長）
- IV. 「提言」無限に存在する地域活性化のエレメント
～そのワーキングポイント～ 山本雄二郎（高千穂商科大学教授）
- V. 「パネル討論」まちづくりの新しいキーワード
～地域ポテンシャル活用への指針～ コーディネーター：山本雄二郎
パネラー：伊藤寛／上山良子／岡並木／若竹馨

第2章 個性の発見と豊かさの創造 一内発型活性化に向けて

- I. 「報告」「高齢化」は活性化のキーワード～都市づくりの新しい地平線～ 土屋 正忠（東京・武蔵野市長）
 - II. 「報告」まちの個性を見つけ出す眼と心～内在するポテンシャル～ 森 ゆみ（エッセイスト、編集者）
 - III. 「報告」「これしきか」文化の発見と創造
～内なる魅力と活力を生かした地域づくり～ 横村 純一（静岡・掛川市長）
 - IV. 「提言」「流行言葉」を使わないまちづくり 岡 並木（武蔵野女子大学教授）
 - V. 「パネル討論」個性の発見と豊かさの創造～外発から内発への転換方策～
コーディネーター：岡並木
パネラー：横村純一／土屋正忠／森ゆみ／山本雄二郎
- 追録 地域資源の発見と創造、そして活用の方策
- I. 地域性・独創性のあるまちづくり
～市民ニーズと地域資源の発見・創造からのアプローチ～ 加藤 広（社会計画研究所取締役）
 - II. 事例研究：「量から質へ」のまちづくり～まちづくり映像の役割と効果
～「発見と創造」をキーワードにした映像製作の現場報告～
 - III. 「発見と創造」とまちづくり映像～15年の歩みにみる映像の効果と可能性～